

行政の窓

令和4年度 北海道の林業・木材産業関連施策について

令和4年3月に策定した北海道森林づくり基本計画（R4～R23）に基づき、森林資源の循環利用を進めるため、以下の施策に重点的に取り組みます。

■ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり

「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献するため、伐採後の着実な植林や間伐による活力ある森林づくりを進め、森林吸収量の確保を図ります。

○ 豊かな森づくり推進事業費補助金 森林所有者が計画的に実施する植林への支援	682,000千円
○ クリーンラーチ幼苗安定確保対策事業費 クリーンラーチの苗木の供給拡大を図るため、新たな育苗技術の検証等を実施	10,603千円

■広葉樹資源の育成・有効活用

広葉樹資源の価値を高めるため、将来を見据えた広葉樹資源の育成や有効活用を推進します。

○ ICTを活用した広葉樹資源の把握（森林資源デジタル管理推進対策費） ICTを活用した資源把握、伐採可能量算定手法の開発	133,321千円
○ HOKKAIDO WOOD 推進事業費（道産広葉樹利用促進事業費） 道産広葉樹製品の普及等	77,291千円（うち2,581千円）

■道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化

今後、一般民有林からの出材増加が見込まれるトドマツ人工林材を最大限に有効活用するため、品質や性能の確かな建築材としての供給力を強化します。

○ 合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進対策等事業費 競争力強化に向けた工場整備等支援	2,049,666千円
○ 林業・木材産業構造改革事業 木材の利用拡大や安定的・効率的な供給を図るための機械・施設の整備等への支援	1,902,703千円
○ 道産建築材供給力強化対策事業費 道産建築材の安定供給に向けた取組の実証	2,273千円

■森林づくりを担う「人材」の確保

全道で人口減少と高齢化が進む中、道内外から広く、森林づくりを担う人材を確保するため、豊かな森林に恵まれた本道の優位性の発信や、安全で安心な労働環境の整備など林業事業体の経営基盤の強化を図ります。

○ 北の森づくり専門学院管理費 北森カレッジの管理・運営の実施、フィンランドとの教育連携の加速	149,461千円
○ 農林漁業新規就業安心サポート事業費 就業希望者の就業に向け、オンラインセミナーや就業体験など取組の実施	13,008千円
○ 森林組合経営強化対策事業費 森林組合の経営基盤等の強化に向けた研修、森林組合間の連携等の取組への支援	2,530千円

■スマート林業による効率的な施業の推進

労働人口の減少や木材生産量の増加などに対応するため、ICT等の先進技術を幅広く活用した「北海道らしいスマート林業」を展開し、効率的な施業の定着を推進します。

○ スマート林業構築推進事業費 スマート林業の構築に向けて、実演会などの開催や機器の試行支援などの実施	12,795千円
○ スマート林業導入支援事業費 生産性や安全性向上のため、森林調査に用いられるドローンなどの導入やオペレーター育成等の支援	89,330千円

■HOKKAIDO WOODブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

道民の暮らしに道産木材製品が定着し、道産木材の需要拡大が図られるよう、「『HOKKAIDO WOOD』のブランド力強化」及び「住宅や建築物等における道産木材の利用促進」に取り組みます。

○ HOKKAIDO WOOD 推進事業費 道産木材の利用拡大、HOKKAIDO WOODブランドによる需要創出等	77,291千円
--	----------

（水産林務部林務局林業木材課林業木材係）